

勢和小学校だより



明日も行きたくなる勢和小 ～楽しく笑って過ごせるように、やって、考え、工夫しよう～

発行日：令和7年11月12日 第24号

児童対象 学校アンケート結果

質問内容	全校児童回答結果					
	A	B	C	D	肯定的 回答	R6肯定的 回答
学校は楽しい。	63.4%	30.9%	4.6%	1.1%	94.3%	91.8%
授業はよく分かる。	63.4%	30.9%	5.1%	0.6%	94.3%	92.3%
授業中、勉強が分からない時、 友達や先生に聴いている。	62.3%	23.4%	10.3%	4.0%	85.7%	85.5%
友達は優しいな・頑張ってるな と思う。	62.3%	23.4%	10.3%	4.0%	85.7%	96.9%
困った時には、先生や家族に相 談している。	45.7%	30.9%	18.9%	4.5%	76.6%	78.8%
自分のことが好きだ。	40.6%	35.4%	18.9%	5.1%	76.0%	76.8%
礼儀正しく生活している。	45.7%	45.7%	7.4%	1.2%	91.4%	
人に嫌なことを言ったり、したりし ないように気をつけている。	71.4%	22.9%	3.4%	2.3%	94.3%	92.8%
人から嫌なことを言われたり、 されたりしたことがある。	41.1%	25.7%	21.7%	11.5%	66.8%	73.7%
係の仕事や当番、委員会の仕事 は楽しい。	69.7%	23.4%	4.6%	2.3%	93.1%	89.7%
読書が好きだ。	50.9%	28.6%	15.4%	5.1%	79.5%	77.8%
家で30分以上、読書している。	ほぼ毎日	週3日	週1日	してない	36.6%	
	14.9%	21.7%	28.0%	35.4%		

■学校は楽しい 94.3%

「学校は楽しい」に対する肯定的回答率は90%以上でした。友達と休み時間に遊ぶこと、毎日の給食など

も楽しさと感じていることと思いますが、係や委員会など役割を果たせる充実感、「なるほど」と感じる授業、自分たちの頑張りで学校生活がよくなっているという自己有用感、事故やケガなく健康で過ごせることなど、私たちが子どもたちに味わわせたい楽しさはいくつもあります。

「明日も行きたくなる勢和小」に向けて、子どもたち同士の関わりを密にしながら、「やって、考え、工夫する」課題発見・課題解決を今度も重点取組として取り組んでいきます。

■「自分のことが好きだ」は80%未満

重点取組だった「自分のことが好きだ。」「困った時に、先生や家族に相談している。」で肯定的回答率80%以上については、今年度も80%を切りました。

「自分のことが好きだ」については、高学年になるほど肯定的回答率が下がっていることも分かりました。本校では、「わかった、できた、上達した」を実感する授業を展開し自信を持たせたり、自分たちの行動で学校生活や学級生活がよりよくなったという実感を味わわせる自治活動に力を入れたりしてきましたが、子どもたちが自分のどういうところが好きでないのか、分析・把握し改善に向けて取り組んでいきます。

「困った時には家族や先生に相談している」については、困り感のある児童については全職員で共有し、担任以外の職員も言葉がけを行うなど、相談しやすい雰囲気を作ってきたつもりですが、定期的なアンケートやクラスでの振り返りはもちろんのこと、日常的な観察をより丁寧に行い子どもたちが安心して困り感を打ち明けられるように取組を進めていきます。ご家庭でも学校のことやお子さんのことで気になることがあれば遠慮なく、お知らせください。

■家庭読書の習慣化に向けて

今年度、初めてアンケートに取り入れた「家で30分以上読書している」について、35.4%の人が「（読書）していない」との結果でした。後日お知らせする保護者対象アンケートでも「ご家庭では、お子さんが読書する時間を作っている」の肯定的回答率は50%で、読書時間の確保が課題となっています。

宿題で読書の時間を設定するなど家庭での読書習慣が定着するよう取組を考えていきます。

互いの頑張りを認め合えた運動会

前日の雨で開始時刻を少し遅らせた運動会でしたが、スローガン「元気いっぱい、全力で」のとおり、子どもたちは演技・競技・係活動に取り組んでいました。なかでも練習期間、運動会当日を通して、互いの頑張りを認めたり、応援したりする子どもたちの姿が多かったことが印象的でした。行事で子どもたちが一段と成長することは教育界では以前から言われていることですが、自分の頑張りに限らず、仲間の頑張りに気づけることも成長している姿です。互いを認め合える暖かい雰囲気を感じられた運動会でした。

